

100th
AnniversaryCATHOLIC KOFU CHURCH
1925 - 2025

2025年12月 第779号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

きょうこう せい 2025年11月26日、いっばんえっけんえんぜつ
 教皇レオ14世、2025年11月26日、一般謁見演説

わたしたちのきぼうであるイエス・キリストについてのれんぞくこうわ
 わたしたちの希望であるイエス・キリストについての連続講話



Leo PP. XIV

親愛なる兄弟姉妹の皆様。おはようございます。
 ようこそおいでくださいました。

キリストの復活は、人生の神秘を照らし、わたしたちが希望をもって人生に目を向けることを可能にします。これはつねに容易で自明なことではありません。世界のあらゆる地域で、多くのいのちが、困難と苦しみを伴い、乗り越えるべき問題と障害に満ちているように思われます。にもかかわらず、人間はいのちをたまものとして受け取ります。人間はいのちを求めるのでも選ぶのでもなく、生まれた最初の日から最後の日まで、神秘のうちでいのちを体験します。いのちは並外れた特別な性格をもっています。いのちはわたしたちに与えられるものであって、わたしたちは自分でいのちを与えることはできません。むしろわたしたちは絶えずいのちを養わなければなりません。いのちは、それを維持し、活力を与え、守り、再び生かす、ケアを必要とします。

人生に関する問いは、人間の心の奥深くから発せられる問題の一つだといえます。わたしたちは自分では何も決めずに人生へと歩み入りました。この明らかな事実から、あらゆる時代に見られる問いがあふれる流れのようにほとばしり出ます。わたしたちは何者なのか。わたしたちはどこから来たのか。わたしたちはどこへ向かうのか。この旅路全体の究極的な意味は何か。

実際、生きることは、意味と方向づけと希望を求めます。そして、希望は、わたしたちが困難のうちにあっても歩み、旅路の苦勞に屈服しないことを可能にし、人生の旅路がわたしたちを故郷へと導くことを確信させる、深い原動力として働きます。希望がなければ、人生は、二つの永遠の夜の間の幕間（まくあい）、地上の旅路の前後の間の束の間の休止のよう

に思われるおそれがあります。しかし、人生に希望するとは、目的を先取りし、まだ見ることも触れることもないものを確信し、御父の愛を信頼して、この愛に身をゆだねることです。御父は、愛をもってわたしたちを望み、わたしたちが幸福になることを望むがゆえに、わたしたちを造られたからです。

愛する皆様。世界には一つの病が広まっています。それは、人生への信頼の欠如です。わたしたちは、否定的な運命論と断念に身をゆだねているかのように思われます。人生は、もはやたまものとして受け取られる可能性ではなく、不可知のもの、すなわち、失望しないようにそこから身を守らなければならない、いわば脅威となるおそれがあります。そのため、生きる勇氣、いのちを生み出す勇氣、知恵の書が述べており（知 11・26）、神が優れた意味で「いのちを愛される」かたであることをあかしする勇氣が、今日、これまでにまして緊急に必要とされています。

福音書の中で、イエスは、病氣の人をいやし、傷ついた人の身体と靈魂を回復させ、死者に再びいのちを与えようとする気遣いをつねに示します。罪人に尊厳を取り戻し、罪のゆるしを与え、すべての人、とくに絶望した人、疎外された人、遠く離れた人に救いを約束すること——このようなわざによって、受肉した御子は御父を現します。

御父から生まれたキリストは、いのちです。そして、ご自分のいのちを与えるほど惜しみなくいのちを生み出し、わたしたちも自分のいのちを与えるように招きます。いのちを生み出すとは、ほかのだれかをいのちへともたらすことです。この法則によって、生ける者の世界は拡大します。この世界は、被造物のシンフォニーの中で、男と女のデュエットにおいて頂点に達する、驚くべき「クレッシェンド」を見いだします。神は男と女をご自分の似姿として創造しました。そして、ご自分の似姿として、すなわち愛のために、愛のうちに、いのちを生み出す使命を彼らにゆだねました。

聖書は初めから、いのちが、まさにその最高の形である人間のいのちにおいて、自由のたまものを与えられて、悲劇的なものとなったことを示します。こうして、人間関係は、兄弟殺しに至るまでの矛盾によって特徴づけられました。カインは弟のアベルを競争相手、また脅威とみなします。そして、不満のゆえに、弟を愛し、尊ぶことができません。そこから、嫉妬と妬みと流血が生じました（創 4・1-16）。しかし、神の論理はまったくそれとは異なります。神はご自分の愛といのちの計画に永遠に忠実であり続けます。たとえ人類がカインの後に倣い、戦争と差別と人種差別とさまざまな形の奴隷制による暴力への無分別な本能に従うとしても、神はうむことなく人類を支えます。

それゆえ、いのちを生み出すとは、いのちの神を信頼し、あらゆる表現によって人間性を推進することです。それは何よりも母性と父性の驚くべき冒険によって行われます。また、家庭が、しばしば彼らの計画と夢を阻まれながら日々の重荷を担う、社会的状況の中で行われます。同じ論理の中で、いのちを生み出すことは、連帯に基づく経済のために努力し、すべての人が公平に享受できる共通善を追求し、被造物を尊重し守り、傾聴と同伴と具体的で私心のない支援をもって慰めを与えることです。

兄弟姉妹の皆様。イエス・キリストの復活は、たとえ悪の暗闇が心と思いを暗くしたとしても、これらの挑戦の中でわたしたちを支える力です。いのちが消え、阻まれたかのように思われるときも、復活した主は、世の終わりまでともにいて、わたしたちとともに、わたしたちのために歩まれます。主こそわたしたちの希望です。

（カトリック中央協議会Hpより）



おしらせ



1 降誕祭のミサについて

12月24日(水)	主の降誕 夜半のミサ	19:00 ~	聖堂・講堂・ホール
12月25日(木)	主の降誕	10:30 ~	聖堂
12月28日(日)	聖家族	10:30 ~	聖堂・講堂
2026年1月1日(木)	神の母聖マリア	10:30 ~	聖堂・講堂

・インフルエンザ等感染症の発生状況によって、マスク着用をお願いする可能性があります。

2 神の母聖マリアの祭日1月1日(木)のミサについて

10:30~ 聖堂とサンタルチア講堂 ※ミサ後、茶話会がございます。

3 各常任委員会の委員長、委員の名簿と2025年度活動報告2026年度活動計画

2026年度の各常任委員会の委員長、委員の名簿と各常任委員会・各会・ブロック・外国籍グループの活動報告・活動計画書を2026年1月11日(日)までに、提出をお願いいたします。(josemaria_0908@yahoo.co.jp) 今井まで

4 青少年育成委員会

①～心のかようクリスマス～

教会学校、中高生会のクリスマスを12月21日ミサの後、サンタルチア講堂で行います。信徒の皆さまも、どうぞ、ご参加ください。

②信徒の皆さまにご協力いただきました千羽鶴を二つ、長崎原爆資料館にメッセージとともに送りいたしました。ありがとうございました。



5 地域福祉委員会

11月9日フリーマーケットが行われました。売上金227,300円の中から経費8,338円(駐車場のお礼)を引きカリタスジャパンへ218,962円送金いたしました。予定通りフリーマーケットを実施できるよう皆様にたくさんのお祈りをいただき、本当にありがとうございました。

「まだ食べられる食品を必要としている人に届けませんか？あなたの優しさが大きな支えになります！」 フードドライブ食品寄付 期間 11月23日～12月21日

かくいいんかい についで
各委員会の日程

てんれいいんかい
典礼委員会

12月 6日(土) 9:30 ~ センターホール

じょせいかい
女性会

12月 7日(日) 11:30 ~ ドミニコの部屋

きすなの会

12月10日(水) 10:00 ~ センターホール

こうほういいんかい
広報委員会

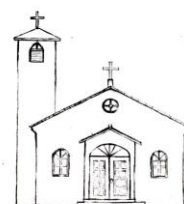
12月28日(日) 11:30 ~ センターホール

せいかたい
聖歌隊

12月7日・21日 9:00 ~ 聖堂

こ いわ
子どものお祝い

11月9日(日)、教会にて子どものお祝いが行われました。ミサの中で、14名の子どもたちが神様の豊かな祝福を受けました。記念品がプレゼントされ、笑顔あふれる祝福のひとつとなりました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



てんれいいいんかい みな
 ～ 典礼委員会より皆さまへ ～

11月16日（日）のミサより、会衆の皆さんの聖歌の歌唱部分に変更がありましたのでお伝えいたします。またこれまでに少しずつ整えられた細かな点について、各ブロックの典礼委員からもそれぞれ共有されていることとは思いますが、今一度お伝えいたしますので合わせてご確認ください。

《聖歌について》『いつくしみの讃歌』についてですが、11/16(日)からその日の先唱者が先唱部分（「主よ、いつくしみを…」の部分）を歌うこととなりました。なんらかの理由で先唱の方が歌われない場合には、聖歌隊がお手伝いいたしますのでそれぞれのブロックの典礼委員に事前にお伝えください。

『いつくしみの讃歌』に続いて始まる『栄光の讃歌』の歌い出し部分は神父さまがお歌いになりますので、皆さんは「地にはみこころに…」からご一緒にお歌いください。

答唱詩編の詩編唱は聖歌隊が聖歌隊席（オルガンの前の席）から歌います。これにより各ブロックの答唱詩編の当番はなくなりますが、答唱部分はこれまで通り皆さんで歌ってください。

第二奉献文、第三奉献文のおわり『キリストによって、キリストとともに、キリストのうち…』のところは神父さまがお歌いになります。会衆は最後の『アーメン』だけを歌いますのでご注意ください。

《朗読奉仕について》朗読の方は、できればミサ前に朗読台で練習していただきマイクの高さなど確認しておいてください。入堂時は侍者に続いて聖体授与の臨時の奉仕者、そして神父さまとともに一列で祭壇前まで進み、祭壇前で横一列に並んで一礼してから自席へ

お座りください。退堂の時は入堂時の様に祭壇前を出て並ぶのではなく、自席で立ち、侍者がご自分の前を進んだら第一朗読、第二朗読と侍者に続いて進んでください。

《献金バスケットの回収とタイミングについて》 献金を集めた後の献金バスケットは、奉納の方が奉納を終えてから回収しますので集め終わった列の通路側の方がそのまま持っていてください。特に聖堂の真中から前方の席の方については、奉納の際に奉納の人とぶつかるといけませんのでくれぐれも立ち上がることはせず、自席で献金バスケットが回収されるのをお待ちくださるようお願いいたします。なお小さなお子様が通路に飛び出すことのないように保護者の方のご協力をお願いいたします。

また、献金を運ぶタイミングは『パンとぶどう酒を供える祈り』の「神よ、あなたは万物の造り主」と応える2回目が終わる頃が目安となります。講堂から献金を運ばれる方は、その日の人数などによりタイミングが遅れることもあるかと思いますが、慌てずに運んでいただいて聖体授与の臨時の奉仕者に講堂の人数を伝えてください。

《聖体拝領について》 ご聖体はオルガニストと聖歌隊がはじめに拝領いたします。その後、祭壇向かって右側前方から順に案内いたしますので慌てずにお待ちいただき、案内の係に従って拝領の列へとお並びください。

《ミサ前、ミサ後の歌の練習について》 大きな祝祭日等の前には特別に歌の練習をする場合があります。今はミサの前に『いつくしみの賛歌』を、またミサ後は対話句と記念唱の練習をしています。ミサ後の練習は、少しの時間ですのでぜひ一緒に練習してください。

以上、よろしくお願ひいたします。なお、お尋ねになりたいことがございましたら、遠慮なく各ブロックの典礼委員または今井（久）典礼委員長までお尋ねください。

待降節黙想会についてのお知らせ

待降節黙想会を指導して下さるのは、カトリック東京大司教区事務局次長の小田武直神父様です。小田神父様は1980年千葉生まれです。小田神父様は中学校時代から断続的に不登校になり、なんとか卒業して高校に進学したものの、早々に学校に行けなくなり、退学なさいました。その後、通信制高校に入学するもスクーリングに行けず、2年留年してようやく卒業されました。「小さい頃から、人に評価されたいという思いが強く、周囲の目を気にしすぎていた。自分はもっとできるはず、という根拠のない自信と現実との乖離に苦しんでいました。」と振り返っておられます。

中学時代から時々、夜中に父親の酒を盗み飲んでいました。現実逃避だったのですが、アルコール依存症に陥ってしまいました。就職した会社も深酒をして翌日仕事に行けないことが度重なり、数ヶ月で辞める羽目になってしまい、再び、ひきこもり気味になってしまったそうです。そんな小田神父様にとっての転機は、医師に勧められてアルコール依存症の自助グループに繋がったことです。「その集いでは、ありのままの自分が受け入れられているという安心感がありました。」とおっしゃっています。

自助グループのミーティングに参加するようになって、引きこもりからも回復した小田神父様は、その経験を活かしてひきこもり支援をしたいと2010年に仲間と自助グループを立ち上げました。その少し前に、たまたま足を踏み入れた教会で故郷にいるような安心感を覚え、カトリック教会に通い始め、やがて29歳で洗礼を受けました。

その後、司祭としてもひきこもりの人を助けたいと、神学校に入ったそうです。そこで一度スリップ（再飲酒）して、またも挫折を経験しながらも、ありのままの自分を受け入れてくれる神への信頼は揺るぎませんでした。再び飲酒を断つことを決意し、ついに司祭への道が開かれたのです。皆様、このような貴重な経験をされて来られた神父様の指導して下さる待降節黙想会に、是非、ご参加ください。きっと、新しい信仰の光をいただくことができるとお思います。

記

- 日時：2025年12月13日（土） 午前10より
- 会場：甲府カトリック教会 聖堂
- 指導神父様：小田武直神父様（カトリック東京大司教区事務局次長）
- 対象者：＜黙想会と分かち合い＞ 甲府教会信徒、他教会信徒、洗礼志願者
＜講演会＞ カトリック信徒、洗礼志願者、ダルクの方、AAの方、未信徒の方
- 日程 ○ 待降節黙想会のご講話：10:00～11:30

テーマ「イエス・キリストの誕生～人となられた神～」

- 黙想の時間と赦しの秘跡：11:40～12:30（皆様にはこの時間に持参した昼食をとっていただく）
- 「祈り」についての分かち合い：12:30～13:00
- 小田神父様の体験を中心とした「講演会」：13:00～14:30

テーマ「依存症と12ステップ～その成り立ちと可能性～」

- 参加申込期限及び方法
 - 期限：2025年12月7日（日）
 - 申込方法 センター掲示板の申込用紙にご記名ください。



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



12月 5日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
12月 7日（日）	たいこうせつだい しゅじつ 待降節第2主日	10:30	ミサ
12月13日（土）	もくそうかい 黙想会	10:00	しどうしさい おだたけなおしんぶさま 指導司祭：小田武直神父様
12月14日（日）	たいこうせつだい しゅじつ 待降節第3主日	10:30	ミサ
		13:00	ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
12月14日（日）	たいこうせつだい しゅじつ 待降節第3主日	15:00	ポルトガル語ミサ (Português)
		10:30	ミサ
12月21日（日）	たいこうせつだい しゅじつ 待降節第4主日	12:30	かんこくご 韓国語ミサ (한국어)
		10:30	ミサ
12月24日（水）	しゅ こうたん 主の降誕 やはん (夜半ミサ)	19:00	ミサ
12月25日（木）	しゅ こうたん 主の降誕	10:30	ミサ
12月28日（日）	せいかさく 聖家族	10:30	ミサ
		17:00 (時間変更あり)	英語ミサ (English)
1月 1日（木）	かみ ははせい 神の母聖マリア	10:30	ミサ
1月 7日（日）	しゅ こうげん 主の公現	10:30	ミサ

※ 1月2日の初金のミサは、お休みといたします。

せんきょうちしやうめいそくしん ひ けんきん
宣教地 召命促進の日・献金 (12月7日)

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた使命であり、神からの呼びかけにこたえること（召命）です。それゆえ、宣教地である日本において、すべての信徒がその使命を果たせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈ることは、とても大切なことです。この日、わたしたちは、世界中の宣教地における召命促進のために祈り、犠牲をささげます。当日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭養成のための援助金としておくられます。